

令和 3 年 6 月 10 日現在

機関番号：34416

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H03351

研究課題名（和文）情報時代における中国学研究・教育オープンプラットフォームの構築

研究課題名（英文）Construction of an Open Platform for Chinese Studies and Education in the Digital age

研究代表者

二階堂 善弘（NIKAIDO, Yoshihiro）

関西大学・文学部・教授

研究者番号：70292258

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,400,000円

研究成果の概要（和文）：本研究はデジタル時代の新しい中国学とその教育について、オープン・プラットフォームを用いて、学术界に広く共有することを目的としたものである。リファレンスマニュアルの発行を主として、様々なデジタル時代に適したツールを開発し、提供を行った。中国学や中国語教育に関するシンポジウムを年1回のペースで開催し、学术界における共有を図った。このほかにオンライン教育に関連したカンファレンスを開催し、時代に即した教育方法のあり方について広く情報の提供を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

インターネットや情報技術が発展しているにもかかわらず、中国学や中国語教育の学術情報を得る方法は旧来の手法が知られたのみであった。本研究では、この状態を改善すべく研究活動を進めた。本研究によって作られたリファレンスマニュアル、Webサイトなどの情報により、新しい学術情報の利用については、より広く認知されるようになった。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study is to widely share a new methodology of Sinology and the education in the digital age with the academic community using an open platform. Mainly through the publication of the reference manual, we have developed and provided various tools suitable for the digital age. Symposiums on Sinology and Chinese language education were held once a year for sharing among the academic community. In addition, we held a conference related to online education to provide a wide range of information on how educational methods can be adapted to the times.

研究分野：人文学

キーワード：中国学 中国学教育 ICT オープン・プラットフォーム オントロジー

## 1. 研究開始当初の背景

デジタル化時代を迎えて、中国学におけるリサーチの方法は様変わりすることになった。特に、中国大陸や台湾などでは、大規模な古典・歴史・言語関連のデータベースが作られ、広く公開されている。また研究論文などの資料についても、国や地域単位での検索やダウンロードが可能なシステムが構築されている。このようなシステムを使って研究を進めることは、もはや国際レベルでは当たり前のことになりつつある。それを踏まえて、日本の大学や研究所などの各研究機関でも広く利用されるようにはなった。一方、中国で開発されたデータベースやコーパスなどは、販売のみ行われ、公開していないものも数多くある。さらにシステムが中国や台湾での使用がベースになっているため、海外からの利用に配慮していないものも多数である。こういったデータベースやコーパス、論文データなどの利用については、依然として日本の学术界では知られていないとは言えなかった。また研究手法についても、これまではデータベースを従来の索引に代わって用いる程度であり、電子データの特性を生かすことはあまり行われていなかった。中国語教育においても、数多くの電子データが提供されているにもかかわらず、教育にどのように生かしていくかについては、まだ模索が続いていた。

学術資料の利活用と保存において、デジタル化がその主流となっているのは周知の通りである。しかし、図書館員をはじめとするデジタルデータの作成・管理者、さらにはユーザーである人文・社会科学系の研究者の多くは、「そもそも何をどのようにデジタル化し、爆発的に増加し続けるデータをどう確実に保存すべきなのか」という課題に対して、正面から議論を深めているとは言いがたい。もちろん、技術の進展により、デジタル化の範囲は更に広がり、また、より長期的な保存も可能になることであろう。しかし、技術的な進歩は、こうして遺された大量のデータが、利用者にとって真に有意義なものであるための一つの条件にすぎないことに注意する必要がある。少なくとも、図書館員や人文・社会科学系の研究者は、様々な形態をもつ学術資料の特性を、メディアとして分析・相対化し、これをデジタルコンテンツとした場合に、どのように利活用し保存するのが望ましいかについて議論し、技術面における専門家にそのことを提言すべきであると考えられる。

## 2. 研究の目的

本研究では、このような状況を変革するために、学术界に広く使われるためのオープンプラットフォームを構築し、また中国学リファレンスマニュアルを発行して、デジタル化時代に適した情報の提供を目指した。また、文献資料の新しい利用の方法についても提言を行った。より具体的には、以下の3点の検討を通じて、情報時代に対応した中国学研究・教育方法を考究し、その支援・普及のためのオープンプラットフォームを構築することにある。(1) 情報技術の応用による文献分析方法の研究、(2) 中国学研究・教育支援のためのオントロジーおよびデータベースの構築、(3) 情報時代に対応した中国学研究リテラシーの検証を行う。

## 3. 研究の方法

研究については、3つのグループに分かれて、それぞれ各年度ごとの目標を決めて実行することとした。また全体の目標としては、オープンプラットフォームの構築と、中国学リファレンスマニュアルの作成がある。3つのグループは、「文献分析グループ」「研究教育支援DBグループ」「リテラシー研究グループ」である。それぞれの実施目標は以下の通りとなる。

A 文献分析グループは、漢字の音韻情報、地名・官職名を処理するためのテーブルを完成させるとともに、それらを応用した文献分析システムの公開を行っていく。

B 研究教育支援DBグループは、中国学リファレンス情報をまとめ、研究代表者・分担者および外部への委託によって、リファレンスマニュアルを作成し、公開する。またオープンプラットフォームにおけるコンテンツの公開作業を進める。

C リテラシー研究グループは、Mediawiki を用いた縦書き訓点文処理方法の完成を目指す。技術実証用の漢文訓読文献の登録と公開を行う。CAI については、実際の用途を踏まえてLMS・e-Learning 教材の研究を深化させる。また、各種中国語形態素解析については、より実証的な研究を進め、成果の公開を行っていく。

研究遂行の参考資料とするため、中国学を選考する学部生・大学院生・研究者を対象とした、ICT スキルや調査・研究実態、情報行動などに関するアンケート調査を実施する。その結果を踏まえて、新たに情報共有のあり方を探っていく。

## 4. 研究成果

本研究はデジタル時代の新しい中国学とその教育について、オープンプラットフォームを用いて、学术界に広く共有することを目的としたものである。同時に、リファレンスマニュアルの発行を主として、様々なデジタル時代に適したツールを開発し、提供を行った。中国学や中国語教育に関するシンポジウムを年1回のペースで開催し、学术界における共有を図った。このほかにオンライン教育に関連したカンファレンスを開催し、時代に即した教育方法のあり方について広く情報の提供を行った。また本研究では、研究期間を通じて研究代表者・分担者が運営する漢字文献情報処理研究会との連携のもと、シンポジウムのほかに研究大会を開催し、また雑誌『漢字文献情報処理』を発行することにより、学術情報の共有を目指した。

平成30年1月に花園大学で開催された漢字文献情報処理研究会第20回大会においては、

その当時における中国学のデジタル化状況や、デジタルアーカイブの利用状況などを確認し、広く現状について認識し、問題点を探る試みが行われた。平成30年1月に発行された『漢字文献情報処理』第17号においては、「デジタルデータの活用と長期保存」を特集として打ち出した。中国学におけるデジタルデータの現状をこれによって分析し、また課題について共有した。同じく平成30年7月には、東京大学においてシンポジウム「教育・研究資源としてのデジタルアーカイブ：その管理・活用・保存」を開催した。このシンポジウムでは、学術研究や教育への利用を前提として、デジタルアーカイブはいかに設計・製作されるべきか、大学図書館や研究者はどのようにデータを管理し保存すべきかなど、デジタルアーカイブの管理・活用・保存について、大学図書館の具体的な取り組みや海外における事例などに基づいて討論を行った。さらに平成30年10月には、『漢字文献情報処理』第18号を発行した。この号においては、「中国語形態素解析」を特集し、中国語のデータ処理における新しい方法を提示した。

平成31年1月には漢字文献情報処理研究会第21回大会が関西大学で開催された。第1セッション「コンテンツセントリックな中国語学習」と題して、中国語教育のデジタル化における新しい方向について検討が行われた。第2セッション「学術著作物の投稿と契約」では、学術著作物の契約問題について討論が行われた。令和元年8月には、北海道大学においてサマー・カンファレンス「言語教育はどこへ向かうのか」を開催した。中国語教育に限られたものではなく、広くデジタル時代の言語教育がどのように変化していくかについて討論が行われた。

令和2年1月には、一橋大学において漢字文献情報処理研究会第22回大会が開催された。ここでは、音韻分析のためのツール、またN-gramをどう古典研究に活用していくかについて検討がなされた。令和2年10月には、新型コロナウイルスの流行を踏まえたうえで、どのように中国学の教育や研究が変化していくかについての討論がなされた。令和3年3月には、漢字文献情報処理研究会第23回大会がオンライン開催で行われた。ここでも中心になったのは、新型コロナウイルスの状況を受けて、どのような影響があったかである。特にオンライン教育面に注目して討論が行われた。令和3年3月には『デジタル時代の中国学リファレンスマニュアル』（好文出版）が発行された。広く中国学のリファレンス情報を集めたもので、本研究の集大成ともいえるものである。なお研究期間の後半には新型コロナウイルスの流行により、シンポジウムの開催などが予定の回数より少なくなってしまうことについては、やや残念に感ずる次第である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計58件（うち査読付論文 37件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 50件）

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第18輯
2. 論文標題 粉戯と陣前招親 西唐故事の形成と展開をめぐる仮説	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中国都市芸能研究	6. 最初と最後の頁 5-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 千田大介	4. 巻 第18輯
2. 論文標題 中国古典戯曲研究のための曲牌・音韻データベースの開発	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中国都市芸能研究	6. 最初と最後の頁 64-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 二階堂善弘	4. 巻 第71集
2. 論文標題 二十四諸天における仏道習合について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本中国学会報	6. 最初と最後の頁 135-145
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 二階堂善弘	4. 巻 2019年第1集
2. 論文標題 関公と足利尊氏 日本最古関公神像伝説	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 道教学刊	6. 最初と最後の頁 177-186
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上地宏一	4. 巻 創刊号
2. 論文標題 実習補助者のいないクラス形態向けプログラミング教育支援システムの構想	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大東文化大学社会学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 73-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁史	4. 巻 -
2. 論文標題 ふるさとの語り方 大連引揚者二世の編纂物にみる満洲の記憶	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 佐藤量・湯川真樹江・菅野智博編『戦後日本の満洲記憶』東方書店	6. 最初と最後の頁 131-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 古海建一、大野絢也、佐藤仁史、井田光祝	4. 巻 第6号
2. 論文標題 追憶片々 満洲引揚者のインタビュー記録	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 満洲の記憶	6. 最初と最後の頁 2-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 第22号
2. 論文標題 『唐六典』の編纂に関する一試論 : 『初学記』と『唐六典』の注	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 唐代史研究	6. 最初と最後の頁 25-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 第10号
2. 論文標題 モノを読み解くための覚書：調査票（カルテ）から考えるコンテンツ・コンテキストと定性・定量	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学経済学部資料室	6. 最初と最後の頁 37-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 第10号
2. 論文標題 満洲国新旧紙幣見本帖	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学経済学部資料室	6. 最初と最後の頁 86-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第17輯
2. 論文標題 北京皮影戲西唐故事考 「大罵城」と『三皇宝剣』伝奇を軸に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国都市芸能研究	6. 最初と最後の頁 91-151
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 氷上正・二階堂善弘・平林宣和・千田大介・山下一夫・佐藤仁史・戸部健	4. 巻 第17輯
2. 論文標題 「近現代中華圏の伝統芸能と地域社会」2018年度活動概要	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国都市芸能研究	6. 最初と最後の頁 163-168
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第17輯
2. 論文標題 嘉慶二十四年慶郡王府戲班花名单考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国都市芸能研究	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 二階堂善弘	4. 巻 -
2. 論文標題 『水滸全傳』與華光大帝信仰	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 陳偉強主編『道教修煉與科儀的文學體驗』(鳳凰出版社)	6. 最初と最後の頁 611-625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 第18号
2. 論文標題 『皇明條法事類纂』電子化筈記 文献学・資料学とデジタルアーカイブのはざま	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 2-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 第18号
2. 論文標題 【研究ノート】韓国における仏教学とデジタル・ヒューマニティーズ “Digital Humanities and Buddhism - Focusing on Data Mining and Visualization” 参加記	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 35-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 第18号
2. 論文標題 形態素解析とは何か	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 42-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田邊鉄	4. 巻 第18号
2. 論文標題 KH Coderで中国語分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 46-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第18号
2. 論文標題 中国語形態素解析エンジン概観	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 63-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第18号
2. 論文標題 Windowsで結巴、THLACを使う	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 66-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 師茂樹	4. 巻 第18号
2. 論文標題 macOS でHanLPを使う	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 72-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之・佐藤仁史・千田大介・二階堂善弘・師茂樹	4. 巻 第18号
2. 論文標題 デジタル時代の中国学リファレンス	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 77-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁史・千田大介・師茂樹	4. 巻 第18号
2. 論文標題 2018年夏期中国視察報告	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 148-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田邊鉄・千田大介	4. 巻 第18号
2. 論文標題 自炊・モバイル時代の中国語OCR徹底比較	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 169-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 第18号
2. 論文標題 万方数拠	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 200-201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田邊鉄	4. 巻 第18号
2. 論文標題 Android スマホ用中国語辞書	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 202-205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 28(2)
2. 論文標題 Remarks on the 3DCG Visualization of Lost Buddhist Temples	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Buddhist Thought and Culture	6. 最初と最後の頁 87-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁史・陳明華・張笑川	4. 巻 第17輯
2. 論文標題 常熟宣卷調査報告 虞山鎮の一講經先生に即して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国都市芸能研究	6. 最初と最後の頁 74-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 110巻
2. 論文標題 大学図書館における外部研究費活用試論	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大学図書館研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20722/jcul.2024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 二階堂善弘	4. 巻 第50輯
2. 論文標題 東アジアの伽藍神信仰	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 関西大学東西学術研究所紀要	6. 最初と最後の頁 41-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 -
2. 論文標題 仏教文献とデジタル人文学: 日本の事例を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 韓国仏教文献の定本化と拡張性	6. 最初と最後の頁 399-429
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 66巻1号
2. 論文標題 八世紀における唯識学派の対外交流 : 崇俊・法清(法詳)を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁史	4. 巻 -
2. 論文標題 歴史学者の行うフィールドワーク 江南地域社会史調査の場合	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西澤治彦・河合洋尚編『フィールドワーク：中国という現場、人類学という実践』風響社	6. 最初と最後の頁 419-443
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁史	4. 巻 2017年第6期
2. 論文標題 従“満鉄上海事務所”看日本の華中調査	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 蘇州科技大学学報（社会科学版）	6. 最初と最後の頁 76-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁史	4. 巻 2018年第1期
2. 論文標題 “迷信”与非遺之間：關於江南的民間信仰与農村婦女的一些思考	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 民俗研究	6. 最初と最後の頁 42-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第17号
2. 論文標題 中華經典古籍庫WeChat 版	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 184-187
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 第17号
2. 論文標題 NDL ONLINE	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報処理研究	6. 最初と最後の頁 182-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 第17号
2. 論文標題 『印度學佛教學研究』の書誌XML によるオンラインジャーナル化	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報処理研究	6. 最初と最後の頁 180-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 第17号
2. 論文標題 中国学の情報化対応に関するアンケート2016 報告	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報処理研究	6. 最初と最後の頁 161-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 二階堂善弘・田邊鉄・千田大介・小島浩之・佐藤仁史・師茂樹・上地宏一・佐藤信弥	4. 巻 第17号
2. 論文標題 デジタル時代の中国学リファレンス	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報処理研究	6. 最初と最後の頁 79-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 千田大介・師茂樹	4. 巻 第17号
2. 論文標題 主要OS の読み上げ機能	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 72-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第17号
2. 論文標題 HTML における縦書きとルビ 訓点文の表現のために	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 57-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上地宏一	4. 巻 第17号
2. 論文標題 Web フォントの現状	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 53-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第17号
2. 論文標題 多言語ウェブページの書き方 lang 属性を使いこなす	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 48-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田邊鉄	4. 巻 第17号
2. 論文標題 CMS カスタマイズと業者選定 「公式サイト」にアクセシビリティを	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 42-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 第17号
2. 論文標題 Web アクセシビリティの現状 JIS X 8341-3:2016 と障害者差別解消法を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 36-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 第17号
2. 論文標題 デジタルアーカイブの発信と受益の狭間 漢情研特別セッション趣旨説明	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 18-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 師茂樹	4. 巻 第17号
2. 論文標題 【研究ノート】2017 年仏教学国際学会参加記	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 11-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第17号
2. 論文標題 中国学研究・教育のためのオープンプラットフォーム構築 コンテンツを中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 漢字文獻情報處理研究	6. 最初と最後の頁 4-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安岡孝一, Christian Wittern, 守岡知彦, 池田巧, 山崎直樹, 二階堂善弘, 鈴木慎吾, 師茂樹	4. 巻 vol.59, no.2
2. 論文標題 古典中国語(漢文)の形態素解析とその応用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌	6. 最初と最後の頁 323-331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 二階堂善弘	4. 巻 第49輯
2. 論文標題 温州の廟と祭神について	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 関西大学東西学術研究所紀要	6. 最初と最後の頁 61-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 二階堂善弘	4. 巻 -
2. 論文標題 日中寺院における伽藍神の探求	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 文化交渉学のパースペクティブ-ICIS国際シンポジウム論文集-(関西大学出版部・関西大学東西学術研究所研究叢刊52)	6. 最初と最後の頁 401-418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 上地宏一、町泉寿郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「日本漢文文献画像データベース(仮)」の構築について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第22回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」発表論文集	6. 最初と最後の頁 23-28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁史	4. 巻 -
2. 論文標題 近現代中国における民間信仰と「迷信」の表象 江南地方の場合	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 関根謙編『近代中国 その表象と現実 女性・戦争・民俗文化』平凡社	6. 最初と最後の頁 314-340
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤仁史	4. 巻 第36期
2. 論文標題 被切斷的記憶：従一位「富農」的敘述看近代江南的農村社會	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東吳歴史学報	6. 最初と最後の頁 7-37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千田大介	4. 巻 第15輯
2. 論文標題 焦循『劇説』校読記	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中国都市芸能研究	6. 最初と最後の頁 31-54
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 59号
2. 論文標題 文献学研究とデジタル情報：固定的情報という思い込みからの脱却	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 人文情報学月報	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小島浩之	4. 巻 106号
2. 論文標題 漢籍整理備忘録：中国の古典籍・古文書理解のために	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大学図書館研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計54件 (うち招待講演 5件 / うち国際学会 9件)

1. 発表者名 千田大介
2. 発表標題 北京・冀中皮影戲のレパートリーをめぐって
3. 学会等名 中国都市芸能研究会2019年度春季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 千田大介
2. 発表標題 中国古典戲曲の音韻分析のために
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会 第22回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 千田大介
2. 発表標題 HSK出題単語の分析 オンライン中国単語集の構築に向けて
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会 サマー・カンファレンス：言語教育はどこへ向かうのか
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 二階堂善弘
2. 発表標題 シンガポール・マレーシアの中元行事について
3. 学会等名 中国都市芸能研究会2019年度冬季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 二階堂善弘
2. 発表標題 漢籍研究環境の変容と今後の課題
3. 学会等名 共同シンポジウム「情報化時代の東洋学研究 デジタルアーカイブスの現状と課題 」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 二階堂善弘
2. 発表標題 《神仙通鑑》所見的明清期洞天福地
3. 学会等名 第1届洞天福地研究与保護国際學術研討会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 フィールドからみる中国近現代史
3. 学会等名 2019年度三田史学会東洋史部会例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 田野中の近現代江南の社會：以口述歴史和地方文獻爲例 (Oral Archives and Local Materials in the lower Yangzi Delta in Modern and Contemporary China)
3. 学会等名 the Conference "New perspectives on Chinese history: The use of archives from the middle and lower course of the Yangzi River and related regions (16th century - 1949) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 敗戦後満州の如水会員：『八木聞一日記』に見る戦後「満洲」
3. 学会等名 第50回一橋祭一橋いしぶみの会企画「戦争と一橋生」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 漢文古典文献を分析するためのツールの普及に向けた取り組み
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会 第22回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田邊 鉄
2. 発表標題 AI通訳のいる時代の言語教育
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会 サマー・カンファレンス：言語教育はどこへ向かうのか
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田邊 鉄
2. 発表標題 外国語とプログラミングを学ぶCLIL
3. 学会等名 2019PCカンファレンス
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田邊 鉄
2. 発表標題 コンピューティング・ポライトネス試論－機械と学ぶ中国語
3. 学会等名 e-Learning教育学会第18回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 千田大介
2. 発表標題 北京・冀中皮影戲のレパートリーをめぐって
3. 学会等名 中国都市芸能研究会2018年度春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千田大介
2. 発表標題 論北京、河北皮影戲之演變
3. 学会等名 偶戲無國界 台日港偶戲交流座談會（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千田大介
2. 発表標題 皮影戲の大西唐故事をめぐって 「大罵城」・北京皮影戲・台湾皮影戲
3. 学会等名 中華圏の影絵人形劇
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千田大介
2. 発表標題 中華圏の影絵人形のデザインと系譜
3. 学会等名 台湾ローカル文化と中華文化 映画・影絵人形劇・布ボテヒ袋戲、そして『Thunderbolt Fantasy』
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 近代中国の『風俗改良』と地域文化
3. 学会等名 アジア教育史学会大会シンポジウム「教育から地域をみる」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 清末民国时期的胥吏与乡村役
3. 学会等名 第1届歴史人類学論壇「明清社会研究基本問題」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 二階堂善弘
2. 発表標題 関公与足利尊氏 日本最古関公神像伝説
3. 学会等名 2018関公文化国際学術前沿論壇（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 二階堂善弘
2. 発表標題 日本に来ている道教・民間信仰の神々
3. 学会等名 阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット「公開講座フェスタ2018」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田邊鉄
2. 発表標題 スキルベースの外国語学習におけるデータベースの活用
3. 学会等名 日本教育工学会 第34回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田邊鉄
2. 発表標題 教科学習とプログラミング教育の統合アプローチ
3. 学会等名 北海道大学情報基盤センター萌芽型共同研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田邊鉄
2. 発表標題 コンテンツ駆動型中国語学習の可能性：大学の必修授業を対象に
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会 第21回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田邊鉄
2. 発表標題 CLILの新展開：プログラミングでノを学ぶ中国語授業
3. 学会等名 e-learning教育学会 第17回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野正隆・小島浩之
2. 発表標題 学術著作物に関する著作権契約の実態と問題点：原著作者の立場から
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会 第21回大会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 小島浩之
2. 発表標題 史料批判とデジタルアーカイブ：『大唐六典』と『皇明条法事類纂』を例として
3. 学会等名 シンポジウム「教育・研究資源としてのデジタルアーカイブ：その管理・活用・保存」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 Remarks on the 3DCG Visualization of Lost Buddhist Temples
3. 学会等名 Digital Humanities and Buddhism -Focusing on Data Mining and Visualization (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 東アジア仏教研究におけるデジタルアーカイブの利用
3. 学会等名 デジタルアーカイブ学会 第3回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田邊 鉄
2. 発表標題 CALL授業における中国人TAによる自由活動
3. 学会等名 中国語教育学会 (関西大学)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田邊 鉄
2. 発表標題 外国語語彙学習の動機づけを高める活動とWebによるサポート
3. 学会等名 PCカンファレンス2018 (慶應大学湘南藤沢キャンパス)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田邊 鉄
2. 発表標題 初級中国語学習者のための創作型授業
3. 学会等名 教育工学会第33回全国大会 (島根大学)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 仏教文献とデジタル人文学: 日本の事例を中心に
3. 学会等名 韓国仏教文献の定本化と拡張性 (韓国東国大学校) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 未来への異議申し立てのために: 3次元復元CGを作りながら考えていること
3. 学会等名 14th International Conference on Digital Preservation (iPRES2017) (京都大学) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 八世紀における新詛唯識派の活動 東京文化財研究所『唐禅智寺故大徳法師崇俊塔銘序』を中心に
3. 学会等名 日本印度学仏教学会 第68回学術大会（花園大学）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 清末民国時期的田賦改革与地方自治：以征税程序為中心
3. 学会等名 “明清江南社会經濟史的基本問題”学術研討会（中国中山大学）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 当代中国農村的民俗文化与婦女網絡：以江南為例
3. 学会等名 SCIEA 9th Annual Meeting（中国Beijing Foreign Studies University）（國際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 中国社会中的民間信仰：以宝卷為中心
3. 学会等名 “中国社会史教材的写法”学術研討會（蘇州科技大学敬文書院）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小島浩之
2. 発表標題 特別セッション：「デジタルデータの利活用と長期保存：大学図書館および人文・社会系研究者の役割」趣旨説明
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会第二十回大会（花園大学）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上地宏一
2. 発表標題 大規模漢字集合の文字検索を自作する
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会第二十回大会（花園大学）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千田大介
2. 発表標題 中国学研究・教育オープンプラットフォームのためのデータ構築
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会第二十回大会（花園大学）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 二階堂善弘
2. 発表標題 妙見・鎮宅靈符神と玄天上帝
3. 学会等名 皇學館大学研究開発推進センター神道研究所平成29年度公開学術シンポジウム「神道における道教受容研究の現在」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上地宏一、町泉寿郎
2. 発表標題 「日本漢文文献画像データベース(仮)」の構築について
3. 学会等名 第22回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 芸能からみる近現代中国地域社会史 最近の宣卷調査を踏まえて
3. 学会等名 中国都市芸能研究会2016年度春季大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 芸能・民間信仰からみる近現代江地域社会史 宣卷(宝巻)を事例に
3. 学会等名 「江南地域社会史研究の回顧と展望」ワークショップ
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田邊 鉄
2. 発表標題 語学授業TA用研修教材のナビゲーション
3. 学会等名 日本教育工学会第32回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 従民間芸能看江南農村和信仰
3. 学会等名 AoE Workshop on Local Society and its Religious Institutions (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁史
2. 発表標題 従記憶到歴史 以滿洲遣送日人為例
3. 学会等名 香港海防博物館週末講座
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 千田大介
2. 発表標題 「情報時代における中国学研究・教育オープンプラットフォームの構築」プロジェクト紹介
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会第19回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 中国学の情報化対応に関するアンケート2016 中間報告
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会第19回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 師茂樹
2. 発表標題 座談会「情報時代における日本中国学の可能性」(問題提起) インド学・仏教学における研究情報発信の取り組み
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会第19回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小島浩之
2. 発表標題 座談会「情報時代における日本中国学の可能性」(問題提起) テキスト・クリティークにおけるデジタル情報の活用
3. 学会等名 漢字文献情報処理研究会第19回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小島浩之
2. 発表標題 国内の図書館が所蔵するアジア資料の概要とリソースシェアリング
3. 学会等名 第18回図書館総合展フォーラム「外国資料をめぐる課題とその克服」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小島浩之
2. 発表標題 日本におけるデジタルアーカイブの動向と課題
3. 学会等名 第66回日本西洋史学会大会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 二階堂善弘	4. 発行年 2020年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 143
3. 書名 東南アジアの華人廟と文化交渉	

1. 著者名 羅雪昌著, 杜正貞・佐藤仁史・陳明華・宮原佳昭・相原佳之編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 浙江大学出版社	5. 総ページ数 220
3. 書名 見証：一位普通農民の70年	

1. 著者名 石光生、邱一峰、山下一夫、氷上正、戸部健、千田大介、平林宣和、佐藤仁史	4. 発行年 2019年
2. 出版社 好文出版	5. 総ページ数 208
3. 書名 中華圏の伝統芸能と地域社会	

1. 著者名 氷上正、山下一夫、千田大介、吉川龍生	4. 発行年 2018年
2. 出版社 好文出版	5. 総ページ数 110
3. 書名 台湾ローカル文化と中華文化	



1. 著者名 水上正、山下一夫、戸部健、千田大介、平林宣和、佐藤仁史、二階堂善弘	4. 発行年 2018年
2. 出版社 台北：博揚文化事業有限公司	5. 総ページ数 282
3. 書名 地方戯曲和皮影戯 日本學者華人戯曲曲藝論文集	

1. 著者名 佐藤仁史、吳滔、張舫瀾、夏一紅	4. 発行年 2018年
2. 出版社 広州：広東人民出版社	5. 総ページ数 336
3. 書名 垂虹問俗 田野中的近現代江南社会与文化	

1. 著者名 佐藤 仁史	4. 発行年 2017年
2. 出版社 北京師範大学出版社	5. 総ページ数 432
3. 書名 近代中国的郷土意識 清末民初江南的地方精英与地域社会	

〔産業財産権〕

〔その他〕

JAET - 漢字文献情報処理研究会  
<http://jaet.sakura.ne.jp/>

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	上地 宏一  (KAMICHI Koichi)  (20468721)	大東文化大学・社会学部・准教授    (32636)	
研究分担者	田邊 鉄  (TANABE Tetsu)  (30301922)	北海道大学・情報基盤センター・准教授    (10101)	
研究分担者	佐藤 仁史  (SATO Yoshifumi)  (60335156)	一橋大学・大学院社会学研究科・教授    (12613)	
研究分担者	千田 大介  (CHIDA Daisuke)  (70298107)	慶應義塾大学・経済学部(日吉)・教授    (32612)	
研究分担者	小島 浩之  (KOJIMA Hiroyuki)  (70334224)	東京大学・大学院経済学研究科(経済学部)・講師    (12601)	
研究分担者	師 茂樹  (MORO Shigeki)  (70351294)	花園大学・文学部・教授    (34313)	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関